

令和5年 10月		北文化小劇場 催し物ご案内			
開催日	催事名	開演	終演	問い合わせ先	入場料
1日 (日)	お豆腐の和らい2023 名古屋公演 チケット 取扱い	14:00	16:10	茂山千五郎家ファン クラブ 「クラブSOJA」 075-221-8371 (FAX 075-221-1309)	全指定席 一般 4,000円 学生 2,000円 小学生以下 1,000円 【友の会(前売)】 一般 3,600円 学生 1,900円 小学生以下 900円
7日 (土)	ふれあい文化事業 「3ガガヘッズ Live Show」 チケット 取扱い	14:00	15:30	北文化小劇場 052-910-3366	全自由席 一般 1,500円 友の会(前売) 1,300円 障がい者等 1,300円
8日 (日)	和力 紅打逃げ!	17:00	19:00	info@wariki.jp 080-6801-4161(平澤)	全指定席 一般 4,500円 子供(4~18歳) 2,500円 ※3歳以下入場不可 ※当日各500円増
15日 (日)	瑞鳳澄依リサイタル	13:00	16:00	一般社団法人 伝統文化芸術協会 日本舞踊 瑞鳳流 052-217-8729 (FAX 308-8729)	全自由席 3,000円
22日 (日)	ジョイントコンサート	14:00	16:00	吹奏楽団 響 080-6921-7781	無料
24日 (火)	北区認知症講演会 「認知症とともに楽しく生きる」 講師 河本歩美氏	14:00	16:00	北保健センター 052-917-6554 (FAX 911-2343)	無料 ※先着150名程度
25日 (水)	名古屋市北図書館 バリアフリー映画上映会 「西の魔女が死んだ」	13:30	15:40	北図書館 052-912-8111 (FAX 052-912-8135)	無料(要事前申込) ※定員100名 10/3(火) 9:30~ 電話・FAX・窓口にて受付
26日 (木)	映画 「長崎追想 父・井上ひさしへの旅」 名古屋特別上映会	①10:00 ②13:30	①12:20 ②15:50	映画「長崎追想 父・ 井上ひさしへの旅」 上映実行委員会 052-784-7223	全自由席 前売 1,200円 当日 1,500円
29日 (日)	Happy Down's Show	15:00	16:30	カラダのアトリエ マナマナ(沼田) 080-4226-0770	無料(要整理券)

チケット
取扱い

…北文化小劇場にてチケット取扱い

公 益
財団法人

名古屋市文化振興事業団

「北文化小劇場」

Facebook

Twitter

お問い合わせ

TEL 052-910-3366 FAX 052-910-3367

アクセス

名古屋市北区志賀町4丁目60-31

総合建設業

株式会社 原田工務店

052-901-3210

あられ、白木

0120-758-216

KAWAI

NAGOYA

052-962-3939

清 酒 金 虎

052-981-3960

お料理・仕出し・うなぎ

魚 鉄

052-911-1211

2023年

北文化小劇場だより

10月

Sat.8.26 「モーニングジャズ」

たくさんのご来場ありがとうございました！

あられ、白木

0120-758-216

KAWAI

NAGOYA

052-962-3939

清 酒 金 虎

052-981-3960

お料理・仕出し・うなぎ

魚 鉄

052-911-1211

伝統文化アドバイザー連載エッセイ 第七回



端唄 華房流華の会 家元
華房 小真先生

【端唄】第2回「『端唄』って何？其の一」

小唄という言葉はちらっと小耳に挟んだことはあるけれど、端唄（はうた）というジャンルは初めて聞きました。という方が案外多くいらっしゃいます。今回は、私が専門とする邦楽の一つである「端唄」を、数回にわけてご紹介させていただきたいと思います。

端唄は、わかりやすく一言で言うと江戸時代の流行歌「はやり唄」です。上方端唄、江戸端唄があり、現在は「端唄」と称しています。曲の長さは、約30秒から長くて4分くらいの三味線を伴奏とする室内小歌曲です。端唄の「端」とは、通り過ぎるくらい早いもの、さっさと流行したなど「粋な」とか「カッコいい」といった意味だったそうです。

端唄の短い歌詞には、風情・心情・人情がちりばめられ、和心が巧みに現されています。文学でいうとポエムや短歌・俳句などの表現に近いものがあります。民謡・俚謡が地方文化の反映であるなら、端唄は都会的で洗練された味わいがあります。

「はうた」という文字は、すでに江戸時代1650年頃の唄本の中に見受けられますが、平和な世の中となり文化が爛熟していくと、一般庶民の生活も豊かな時間を享受する時代がやってきます。三味線音楽も身近な存在になり、たくさんの楽曲も生まれ、庶民もお武家さんも老若男女を問わず愛唱されていきました。

また、端唄は、その曲の元唄の歌詞に対して、歌詞の異なる替え歌がたくさんあるのが特徴的で、曲名は、ほとんどがその曲（元唄）の歌詞の歌い出し部分が曲名となっています。江戸時代は、ほとんどの曲が作詞作曲者不明の「詠み人知らず」です。明治になるとようやく作詞作曲名が記してある曲も出てきます。

端唄は、歌舞伎、芝居音楽の挿入歌や落語の出囃子にも演奏されています。歌舞伎、芝居ではバックミュージックとして、短い楽曲の中にその場面ごとの状況描写や心情がしっかり表されているので、歌舞伎などを観劇される時には、挿入される端唄の歌詞や三味線にも耳を傾けて頂くと、違う楽しみ方もできるかと思います。

様々な三味線音楽がある中で、端唄は邦楽の入門編にぴったりの身近な存在となる伝統音楽です。

施設事業レポート

8/22(火)名古屋ローカルヒストリー 「親子で学ぶ『からくり人形』の世界」

8月22日(火)に名古屋ローカルヒストリー「親子で学ぶ『からくり人形』の世界」を開催しました。

講師には北区に工房を持ち、国内外で活動されているからくり人形師の九代玉屋庄兵衛さんをお招きし、からくり人形の歴史や仕組みを解説していただきました。からくり人形は江戸期以来庶民に親しまれてきた木製の自動人形で、いわば“江戸のロボット”ともいえるほど精密なつくりをしています。講演の後は、そんなからくり人形を間近で見学したり、実際に触って体験したり…普段触れる機会の少ない伝統工芸ですが、見て触れることで少し身近に感じられたのではないのでしょうか。

玉屋庄兵衛さんは犬山市史料館にて、からくり人形の製作公開を行っているそうです。（金・土曜日の不定期）興味のある方はぜひ足を運んでみてください。



8/26(土) 朝っぱら！コンサート「モーニングジャズ」

8月26日(土)に朝っぱら！コンサート「モーニングジャズ」を開催しました。この事業は、ジャズが盛んな北区で朝の時間帯に開催されるコンサートで、地域の方々にはジャズを気軽に楽しんでいただくものです。

9回目となる今回は、2022年よりデュオ活動を開始された伊藤寛哲さん（写真右）とハマノユリナさん（写真左）のお二人によるギターデュオ演奏で、日本語の歌詞にのせてジャズをお届けしました。ジャズと日本語？と思うかもしれませんが、日本語の美しさや歌詞の意味を感じながらゆったりと心地良く聞くことができた大変好評でした。

毎回少しずつ形を変えて開催している「モーニングジャズ」。次回の開催をお楽しみに！



職員コラム～揚幕の隙間から～

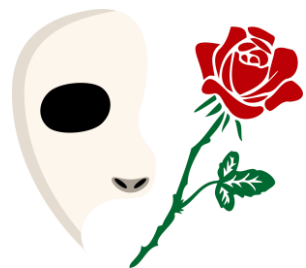
第6回「オペラ座の怪人」

前号で紹介した「ハリー・ポッターと呪いの子」は2年にわたるロングラン公演を行っており、作品の入れ替わりが激しい日本では比較的珍しいことです。しかし、ミュージカルの本場ブロードウェイにおいては、多くの作品においてロングラン公演が原則となっており、どんなに短くても1年は同じ作品を公演しています。そして、そんな中、今年の4月16日、35年にわたるロングラン公演を行っていた「オペラ座の怪人」が終幕しました。なんと、初演は1988年。現時点でのロングラン記録となっています。また、同じく今年4月9日には、劇団四季で上演している「オペラ座の怪人」も日本初演35周年を迎えました。これだけ長く多くの人に愛される作品というのは、本当に感動的だなと感じます。

さて、作品の話も少しさせてください。「オペラ座の怪人」は、パリ・オペラ座の地下深くに棲む怪人“ファントム”と歌姫クリスティーヌの悲恋を描いたラブ・ストーリーです。アンドリュース・ロイド・ウェバーが作曲した楽曲は、どれも名作揃いで、情景や心情を見事に表現しています。この作品は知らなくても、曲は知っているという方も多いかもしれません。個人的に一番好きな歌は、「All I ask of you」のリプライズです。リプライズというのは以前に出てきた曲を別の場面に使ったり、他の登場人物や場面に合わせて歌詞を変えたり曲調を変えたりして、繰り返し使うことを指す言葉です。同じメロディーで違うシチュエーションというのが私の好みだからなのですが、幸せな二人が掛け合いで歌った後に、ファントムが一人で切なく歌うのが、非常に心に響きます。ちなみに、この作品は映画もありまして、劇団四季の方が日本語の吹き替えをしているため、聞き応えのある歌声を堪能できます。その中でも、大勢で歌う「Masquerade」なんかは、迫力があってオススメです。

曲だけでなく、視覚的には冒頭に登場するシャンデリアも印象的です。シャンデリアといえば、昔担当した催事で、「オペラ座の怪人」のオープニングを演奏するから、舞台上にシャンデリアを飾りたいという要望がありました。また、映画や舞台の演出を再現するため、演奏に合わせてアップしていく演出をしたいということで、職員全員で検討したことがあります。最初の案として出てきたものは、三重の円にペットボトルを組み合わせて作られたシャンデリアで、非常に大きく、操作が難しかったため、いったん却下となりました。最初のを原型として、前半分だけの半円にしてみらい、さらに少し潰れた楕円形に加工してもらうことで、操作しやすくなり、実現することができました。準備の日に、操作を試してみたところ、バランスが悪く、少し傾いてしまったので、調整するのが難しかったことを覚えています。ただ、対応策を考えるのが楽しくて、出演者の喜ぶ顔を見ることもできたので、お客様のやりたいことを、如何にやれる範囲で実現するかを考えるのが、舞台の裏方の仕事の醍醐味だなと感じました。

小劇場の規模では、ロングラン公演というのはほとんどありませんが、利用するお客様がやれてよかったと感じ、見に来るお客様も来てよかったと思える公演ができるように、職員一同サポートしていきますので、今後ともよろしくお願いいたします！



The Polar Star Jazz Orchestra 演奏情報



The Polar Star Jazz Orchestra（略称：PSJO）は、2015年に結成された市民参加型のビックバンドです。バンド名は「北区の星になる」という意気込みから、“北極星（The Polar Star）”にちなんでネーミングされ、北区を拠点として日々活動を行っています。そんなPSJOが北区のイベントに出演します！どちらも入場無料ですので、ぜひお気軽にご来場ください♪

10.15
(日)

北区区民まつり
きた・きたフェスタ ステージ

今年で区制80周年を迎える北区。
区内最大のお祭りが今年も開催！

日 時：10月15日(日)9：40～15：10
※14：20ごろ出演予定
場 所：北区役所講堂ステージ

10.22
(日)

名古屋ジャズストリート2023

毎年1万人以上が来場する大型ジャズイベント。
東海圏で活躍する演奏者が多数出演！

日 時：10月22日(日)10：00～18：00
※12：00ごろ出演予定（地下鉄大曽根駅）
場 所：大曽根商店街・大曽根本通商店街

快適以上を、世の中へ。

広告募集中！
掲載料1枠50,000円／年
ご希望の方は北文化小劇場まで
TEL 052-910-3366